

相関性試験成績 (社内データ)

	対照品			
	陽性	陰性	合計	
OC-ヘモキャッチ® S '栄研'	陽性	91	1	92
	陰性	3	105	108
	合計	94	106	200

対照品：イムノクロマトグラフィー法 (OC-ヘモキャッチ® S '栄研')
陽性一致率：96.8%、陰性一致率：99.1%、全体一致率：98.0%

	対照品			
	陽性	陰性	合計	
OC-ヘモキャッチ® S '栄研'	陽性	92	0	92
	陰性	2	106	108
	合計	94	106	200

対照品：イムノクロマトグラフィー法 (他社製品)
陽性一致率：97.9%、陰性一致率：100.0%、全体一致率：99.0%

使用上又は取扱い上の注意

1. 取扱い上(危険防止)の注意

- 1) 試料 (検体) は、感染の危険があるものとして注意して取り扱うこと。
- 2) 感染を避けるため、検査時は使い捨て手袋を着用すること。
- 3) 口によるピペッティングはしないこと。
- 4) 試薬が誤って目や口、皮膚に付着したときは、直ちに大量の水で十分に洗い流し、必要があれば医師の手当てを受けること。
- 5) 採便容器の内溶液には、保存剤として微量のアジ化ナトリウムが含まれる。アジ化ナトリウムには毒性があるので、目や口に入らないよう、また皮膚に付着させないよう注意すること。

2. 使用上の注意

- 1) 各試薬は指定の貯蔵方法で保存すること。
- 2) 使用期限を過ぎた試薬は使わないこと。
- 3) 本製品中の容器、付属品等を再利用又は他の目的に転用しないこと。

3. 廃棄上の注意

- 1) 試料 (検体) に接触した器具や廃液等は、次亜塩素酸ナトリウム溶液 (有効塩素濃度 1,000ppm 以上、1 時間以上浸漬) 又はグルタルアルデヒド (2%, 1 時間以上浸漬) による消毒処理、あるいはオートクレーブ (121°C、20 分間以上) による滅菌処理を行うこと。
- 2) 検体が飛散した場合は、80%エタノール等で拭き取りと消毒を行うこと。
- 3) 採便容器の内溶液に含まれるアジ化ナトリウムは、鉛管や銅管と反応して爆発性の金属アジドを生成することがあるので、廃棄の際は大量の水と共に流すこと。
- 4) 反応容器はスチレン・ブタジエン共重合体物質、反応容器の袋はポリエチレン (PE)、アルミ、採便容器はポリエチレン (PE)、ポリプロピレン (PP)、ABS樹脂、提出用袋はポリエチレン (PE)、キットケースは紙を主な材質としている。
- 5) 使用後の試薬や容器及び器具類は、医療廃棄物等に関する規定及び、水質汚濁防止法等の各種規制に従い、各施設の責任において処理すること。

キットの構成・製品一覧

体外診断用医薬品 (測定原理: イムノクロマトグラフィー法)

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
OC-ヘモキャッチ® S '栄研' 反応容器	100個	室温保存	1年6カ月間	E-PC13
OC-ヘモキャッチ® S '栄研' 反応容器	10個×10	室温保存	1年6カ月間	E-PC14
OC-ヘモキャッチ® S '栄研' 反応容器 付属品セット	30回分 反応容器 30個 付属品セット (H採便容器 2.0mL×30 提出用袋(採便容器入れ) 30枚)	室温保存	1年6カ月間	E-PC15

(別売トレイ)

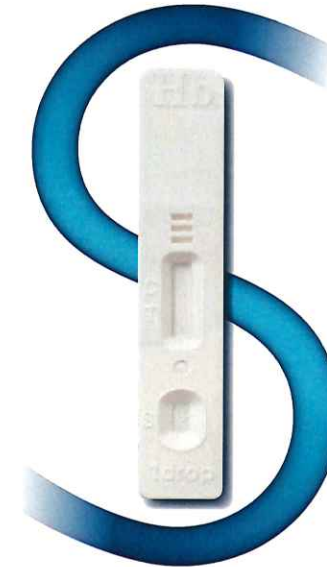
製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
OC-ヘモキャッチ® S '栄研' 用トレイ	10個	室温保存	—	E-PC16



Fit your life,
with our FIT
健やかな健康を、私たちの健康で

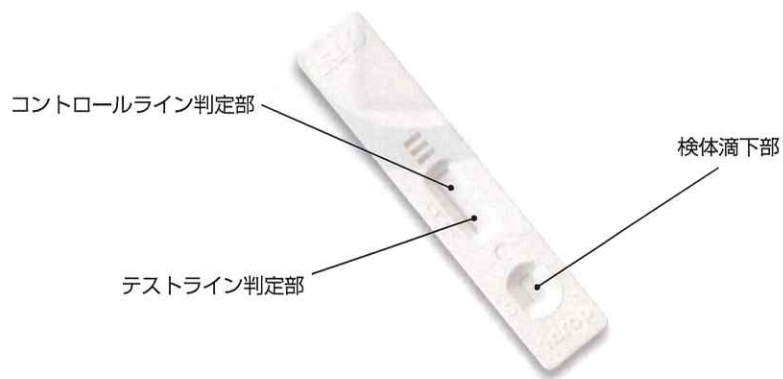
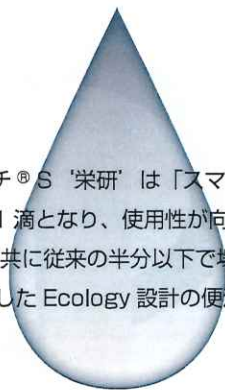
便潜血キット

OC-ヘモキャッチ® S '栄研'



軽く、小さく、 スマート1滴。

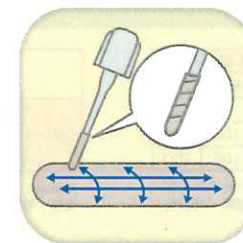
OC-ヘモキャッチ®S '栄研' は「スマート&コンパクト」。
 滴下量も1滴となり、使用性が向上しました。
 容積・重量共に従来の半分以下で場所をとらず、
 廃棄にも配慮した Ecology 設計の便潜血キットです。



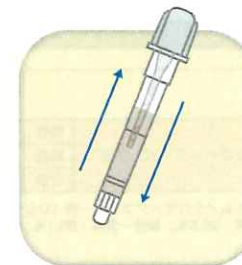
(採便法)



採便容器の緑色のキャップを回し、採便棒を抜き取ります。

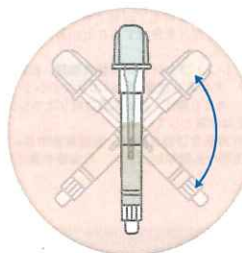


便の表面を幅広くこすり、採便棒の先端部分に便をとります。

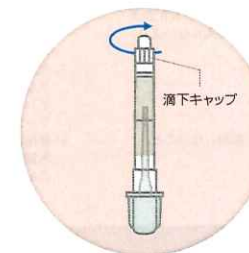


採便容器に採便棒をもどし、キャップをしっかり締め、数回強く振って下さい。

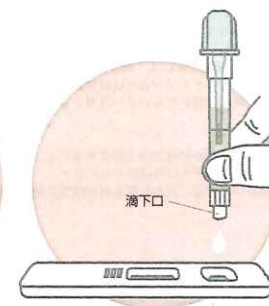
(測定法)



採便容器を数回、転倒混和し、便が完全に溶解していることを確認します。



滴下キャップのシールを破りながら回して、キャップを締めます。

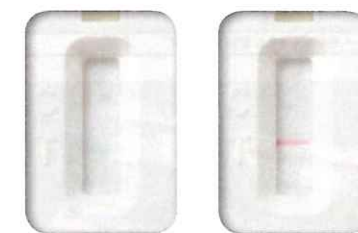


採便容器を垂直に保ち、反応容器の検体滴下部に検体を1滴滴下し、5分後に判定を行います。

(判定)



(+)陽性 (-)陰性



再検査

コントロールラインが現れない場合は、別の反応容器で測定をやり直して下さい。